



平成18年2月15日

各位

会社名 株式会社昭和真空
代表者の役職名 代表取締役社長 小俣 邦正
(JASDAQ コード番号: 6384)
問い合わせ先 経営企画室長 萩原 泉
電話番号 042-764-0385

平成18年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成17年11月15日の中間決算発表日に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成18年3月期通期連結業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,714	△43	△103
今回修正予想(B)	10,920	206	53
増減額(B-A)	206	249	156
増減率(%)	1.9%	---	---

* 当中間決算期から、連結決算を開始致しました。

2. 平成18年3月期通期単独業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,725	100	40
今回修正予想(B)	10,950	330	179
増減額(B-A)	225	230	139
増減率(%)	2.1%	230.0%	347.5%
(ご参考) 前期実績(平成17年3月期)	11,514	△111	△142

3. 修正理由

連結通期業績予想修正の主な内容は、以下のとおりです。

- ・ 売上高は、携帯電話の世界的な需要の増加や小型化・多機能化の進展、及びデジタル家電、パソコン、車載用などの水晶デバイス需要の拡大をうけて、水晶デバイスメーカーの生産が増加しており、当社の水晶デバイス製造装置の需要環境が好転してきたことなどにより、前回予想の10,714百万円から10,920百万円に修正いたします。
- ・ 利益は、競合激化等に伴う価格下落や、海外子会社の操業開始に伴う開業準備費用約120百万円の一括償却等がありましたが、標準化の推進などによる売上原価、クレーム費の改善に加え、総固定費の低減等により、経常利益は、前回予想の△43百万円（損失）から206百万円、また当期純利益は、前回予想の△103百万円（損失）から53百万円にそれぞれ修正いたします。

単独通期予想修正の主な内容は、以下の通りです。

- ・ 売上高は、連結同様に、国内外での水晶デバイスメーカーの堅調な設備投資に支えられ、受注・売上が伸長しており、また次期戦略装置の早期戦略化などにより、前回予想の10,725百万円から10,950百万円に修正いたします。
- ・ 利益は、連結同様、競合激化など厳しい経営環境ではありますが、標準化の推進、総固定費の低減のほか、経営体質の改善を図ることなどにより、経常利益は、前回予想の100百万円から330百万円、また当期純利益は、前回予想の40百万円から179百万円にそれぞれ修正いたします。

- * 上記の予想は、作成時点における経済環境や当社をとりまく事業環境に基づく予想であり、実際の業績は様々な要素により、これらの業績予想とは異なる場合があります。

以上